



会からのお知らせ

○第5回（4周年）年次総会の案内

開催日：11月23日（勤労感謝の日）

場 所：東村山市民センター別館（東村山市役所の向かい側、中央図書館隣り）

時 間：14：30～ 開場、受付開始

15：00～講演会開始（講演：宮沢正安先生「こころのやすらぎと音楽」）

16：45～年次総会開始

18：00～20：00 懇親会 （詳細は先月お配りした「ご案内」の通り）

○ 平成12年12月定例役員会

日時：12月2日（土） 14：00～14：30 発送準備（有志による）

14：30～16：00 役員会

場所：東村山市民センター別館、第6会議室

なお、一般会員の方も時間の都合のつく方は気楽にご参加下さい

○ 近隣稲門会総会紹介

清瀬稲門会：11月12日（土）清瀬駅そばアミューホール、

連絡先：0424-91-0572 大畠宅

小平稲門会：11月19日（日）小平駅3分ルネ小平

連絡先：042-381-2221

○ 関連会合への出席

10月4日 早稲田大学校友会本部事業委員会於、大隈会館、 木谷出席

10月6日 早稲田大学校友会代議員会於大隈講堂、木谷、久保、当間、三宅出席

10月21日 早稲田大学代表者会議 於大隈会館、大西出席

10月14日 立川稲門会 於、立川平安閣 大西出席



早稲田大学125周年事業募金について

毎月お知らせ致して居りますが、早稲田大学では建学の理念「学問独立」「学問の活用」「模範国民の造就」を実現するため創立125周年の記念事業として、インテリジェント教育研究棟2棟の建設、新学生会館の建設、大隈講堂の多機能型文化ホールへの再生を実施するための資金調達の募金活動を展開しています。

会としても会員の皆様に来期から7年間会費3,500円に1,500円を上乗せしこの分寄付することをお願いして居ります、来期の会費徴収は11月です、よろしくお願い申し上げます。

早稲田大学演劇博物館浮世絵2001年暦

演劇博物館は1928年の創立以来、多くの方々のご協力をいただき、日本で唯一の演劇博物館として、世界に誇る数多くの国内外の演劇資料を収集しておりますが、このうち演劇博物館が所蔵する浮世絵約46,000点の中から、未公開の名品6点を厳選して2001年カレンダーを作成いたしました。是非ご購入ください(1部1,500円)お問い合わせは 03-3913-5550 竹田印刷 (担当 飯田・渡辺)

ハワイ稲門会からのご案内

ハワイ稲門会では来年度総会を下記の通り行います。昨年は国内稲門会等から50名の参加があり、盛大な会が出来ました。ゴルフ会もありますので、一人でも、ご家族とごいっしょにでも是非おいでください。なお、格安ツアーもご用意してあります。

2001年2月20日(火) 6:00 pm

シェラトンワイキキホテル IWA O AKAKA ルーム

会費 100\$

ツアーは2月19日出発・2月24日帰国(4泊6日) 99,000円

問い合わせ HIS 団体営業部 ワセダカウンター吉良(きら) H9 教育卒

早稲田米のお知らせ

(創立125周年事業 協賛)

「早稲田」は、新潟県村上市の「三面川」の上流の朝日村にあります。日本一の「新潟コシヒカリ」の生産地です。ここで生産された純粋種100%の最高級のお米を産地直送します。

問い合わせは「グルメサークル」フリーダイヤル 0120-096-396

会津八一記念博物館のお知らせ

10月27日(金)～11月10日(金)

「弥生時代の早稲田のムラ」

11月20日(月)～12月16日(土)

「会津八一展」

故杉原千畝氏を偲ぶ講演会について (再掲)

副会長 三宅 良太

来る12月14日母校の大隈講堂で標記の講演会が計画されております。故杉原千畝氏(1900～86、早大高等師範部英語科中退)は第二次世界大戦中に、リトアニア領事代理の職にあり、多くのユダヤ難民にビザを発給し数千人の命を救われました。その功績を頌えて生誕の地岐阜県八百津町にある「人道の丘」に早稲田大学より顕彰碑を7月15日に寄贈(早稲田学報10月号掲載)。7月30日に生誕100年の記念行事が現地で執り行われました。同氏の幸子夫人(86才)がご健在で、当日にはビザ発給時のご主人の苦悩のご様子等取り混ぜてお話頂けることになりました。

(時間等の詳細は次号にてお知らせ出来ると思います)

同好会だより

テニス同好会

幹事 当間昭治 TEL 391-6023

ナイターテニス大盛況



10月8日(日)久しぶりの開催となったテニスは、前回雨天の為中止となった同じ場所・同じ時間(萩山テニスコート 午後7時～9時)で行われました。秋冷の候となり多少心配しましたが、そこは若さあふれる面々、ストローク・ダブルスといつものメニューで、あっという間に2時間が過ぎました。

今回の参加者16名(うちプレーは13名)は過去のデータからして最多。特にペアーでの参加が多い(6組うちプレー4組)のが楽しさの秘密ではないかと思います。市営のコートが取りにくい為、予定をニュースでお知らせしにくいことありますが、電話連絡等で今後のご案内します。

楽しい会の為、会員の皆様ご協力下さい。

追記

申し込みをしていた下記かいじょうがOKとの回答があり、ニュースに間に合いました。前回同様多くの方の参加をお待ちしています。

記

日時：11月19日(日) 午後1時～3時

場所：市立第2中学テニスコート(3面)

久米川町2-4-1 (TEL 391-9112)

麻雀同好会

幹事 小野 智 TEL 391-9523

田口 政澄 395-4077

本年最後の第四回麻雀大会を下記にご案内いたします。



表彰式後は忘年会を兼ねた懇親会でまた一杯やりながら楽しいひとときを過ごしましょう。

今回は13名の三卓で少し寂しかったので、今回は是非最低四卓で賑やかに過ごしたいと思います。会員各位の積極的な参加をお願いいたします。

また初参加の方お待ちしております。大歓迎です。

記

日時：12月10日(日) 12時30分

申込締切：11月30日(木)

場所：マージャンM

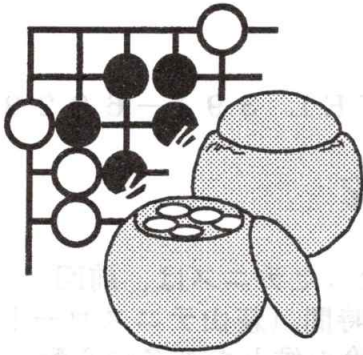
本町4-12 アメニティパレスB1

TEL：397-5228

会費：6千円(競技代、賞品代懇親会費用すべて含)

囲碁・将棋の会

幹事 鈴木 国夫 TEL 394-2052
江藤 昌明 391-4076



囲碁・将棋の会（第8回）は10月21日（土）午後1時より東村山市民センター第6会議室において、8名が参加して熱戦を展開しました。

練習会でしたが、各自持ち味を発揮し、どの対局も接戦続きでした。

なお市民センターは各種会合の利用客が多く、会場の確保が大変ですが、当会は毎回江藤さんが2か月も前から予約をとって下さり助かっております。

次回会合は

12月9日（土）午後1時より東村山市民センター第6会議室において行います。

園芸の会

（再掲）

幹事 三宅 良太 TEL 394-5298



今年第4回の園芸の会を下記の日程で催しますので、多数ご参加下さい。

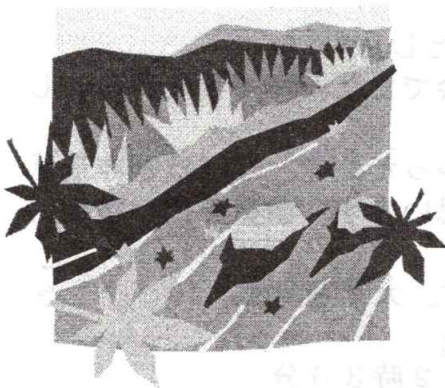
日時：11月5日（日） 14時～

場所：東村山市民センター 第5会議室

当日、可能な方は各自育てた各種の苗を持ち寄り、交換する予定です。

山とハイキングの会

幹事 久保 栄二 TEL 394-5298



秋の一日、奥武蔵の低い山を歩きましょう。

下記の要領でハイキングを実施しますのでご参加下さい。

目的地：奥武蔵 西武線吾野駅下車にて登り

大高山（493m）、天覚山（455m）

開催日：11月11日（土）

集合場所：西武池袋線所沢駅下りホーム小手指寄り

集合時間：午前9時（09:07 発三峰口行快速急行に乗車）

コース（歩行時間）：吾野駅－（1時間30分）－大高山－（1時間10分）－天覚山－（40分）－東吾野駅

合計約3時間半

下山時間：東吾野駅到着 午後2時半頃。その後解散。

*雨天中止 ご不明の点は幹事までご連絡下さい。

ゴルフ同好会

世話人 井垣 和太

TEL 396-3100

○第8回会長杯コンペで津野慶浩さん（36商）が優勝！

第7回コンペ成績

順位	選手名	アウト	イン	合計	ハンデ	ネット
①	津野 慶浩	48	43	91	19	72
②	大野 恵子	47	52	99	26	73
③	月森 通夫	48	52	100	26	74
④	大西 幸夫	53	51	104	29	75
⑤	吉田 勝	49	46	95	18	77
⑥	滝川 正義	53	46	99	21	78
⑦	当間 昭治	54	52	106	27	79
⑧	井垣 和太	48	51	99	16	83
⑨	木谷 肇	55	57	112	28	84
⑩	高部 素行	52	53	105	20	85
⑪	三宅 良太	57	53	110	23	87
⑫	藤澤 博恭	62	61	123	29	94

同ネットは①ローハンデ②高年齢順

ベストグロス	津野 慶浩	91
ドラコン	月森 通夫	
"	津野 慶浩	
ニヤピン	吉田 勝	×2

10月8日（日）秋空の下、立川国際カントリー倶楽部で開催された第8回会長杯コンペには12人が参加。今回の初参加は**高部素行さん（35理工）**。稲門会へは2年前に入会。「先ずは遊びから」がモットーとのことでゴルフを手始めに会員活動を開始しようと勇躍参加。はじめは何とかの如くを实践されたのか、年長組に入ってのプレーの所為か、スコアは今ひとつでした。

プレーをした「草花コース」でメンバーによる月例競技が行われており、我々もノータッチ・完全ホールアウトで難しいピンポジションに挑戦。

優勝カップをもぎ取ったのは津野慶浩さん（36商）。Sヤードのドライバーショットが冴え、ベストグロス91、ネット72パープレーで春の3位から躍進して優勝。

準優勝は前半のアウトを47のベストグロスでまわり優勝確実と囃された**大野恵子さん（46文）**。プレッシャーがかかったのか後半出だしの8が響いて、ネットで1打及ばず、女性としての初優勝を逃しました。

3位には津野さんと同組でやはりSヤードで飛距離を競った**月森通夫さん（35法）**。**ブービー賞**は「ブービーなんて賞はもらったことがない。」と苦笑する**三宅良太さん（36商）**。

ドラコン賞は「Sヤード」という道具で獲った感のある**津野さんと月森さん**。（いや使い手が良いからだご当人達は言うが）。**ニヤピン賞**は意外にもドラコンが本命と思われていた**吉田勝さん（43理工）**が力だけではなく技もあるところを見せて独占。

各人各様のゴルフを存分に発揮した一日でした。

（井垣 記）

優勝者津野さん談「100を切れば幸せなゴルファーの私が、この度の会長杯ではからずも優勝の栄に浴することが出来、「何事もあきらめてはいけない」というオリンピックのメダリストの言葉が実感として感じられました。皆様の暖かい励ましにお礼申し上げます次第です。」

準優勝大野さん談「曇り・無風と言う好条件の中、思いもよらぬ準優勝でびっくりです。私のパーはボギーと決めていますので、6352ヤードが3オンにぴったりだったのでしょう。しかし「午前のベスグロ」に「午後は力が入ってトリ3つ」というところが反省点（笑）。ゴルフの後のビールの美味しさは格別でした。」

○第3回三多摩稲門会ゴルフ会（11／8）出場選手決定！



三多摩稲門会ゴルフ会は11月8日（水）東京バーディクラブ（青梅市）で開催されますが、出場選手が確定しました。
大西 幸夫さん、木谷 肇さん、谷城 長治さん、井垣 和太さんの4人です。競技は新ペリア方式により行われ、団体戦は各チーム上位3名の合計ネットスコアで総長杯を競います。プレーは勿論ですが、近隣稲門会の皆さんとの交流の場でもあり、4人の選手の方々が、おおいに東村山稲門会の意気盛んなところを示されることを皆さんとともに期待しましょう。

（ニュース10月号に11月18日とあるのは誤りです。すみません。）

○11月24日（金）総長杯東京23区・23市稲門会対抗戦

早稲田大学創立125周年を盛り上げるイベントとして、~~1~~校友会主催による東京23区・23市稲門会対抗戦ゴルフコンペが11月24日（金）西武園ゴルフ場で開催されることになりました。主管は交友会の事業委員会（木谷幹事長が委員として活躍中）と組織委員会です。

競技は各参加チーム上位2名の合計ネットスコア（新ペリア）による団体戦です。各稲門会2～3名の参加枠ですが、東村山稲門会からは**三宅 良太さん、木谷 肇さん、滝川 正義さん**の3名が出場予定です。こちらの方も応援しましょう。

なお、同日 奥島総長杯全国支部対抗戦も同ゴルフ場にて開催されます。

掲 示 板

新刊書紹介

本会々員で、前回講演を頂いた山崎さんの著作が9月に3冊発行されましたのでご紹介します。

1. 「日本の名薬」東洋経済新報社（1500円）

森鷗外も愛用した胃腸薬「一等丸」400年の歴史をもつ薬舗の便秘薬、自然治癒力を高める膏薬「金創膏」350年続く滋養強壮薬「大木五臓園」花粉症にも効く漢方生薬「鼻僚」など約40点の綴られ昔から伝わる伝承薬の効能から開発に至るエピソードなどを興味深く綴られています。

2. 「東京検死官」新潮社1500円

通常嫌がられる検死の仕事を18年間も続け3000もの変死体をみた希有の検死官「芦沢」の昭和の難事件を迷宮入りから救ったさまざまな経験談が盛られています。

3. 「サムライの国」文芸春秋社1857円

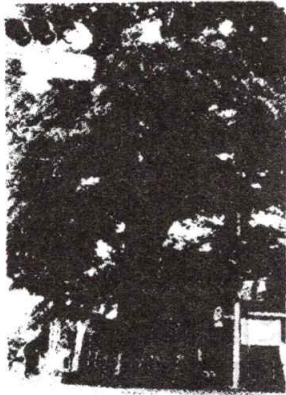
森鷗外、夏目漱石、北里柴三郎、野口英世、そしてダグラス、マッカーサーなど近代日本に偉大な足跡を残した人たちのエピソードを掘り起こし紹介しています。

以上3点は9月の講演を聞いた人は察しがつくと思いますが山崎さんの調査、研究の結果が盛り込まれています。

（大西）

野火止用水と万年橋のケヤキ

小亀 輝雄



徳川家康は江戸入府とともに江戸の上水として井の頭（武蔵野市吉祥寺）から神田上水を取り入れましたが、その後江戸の人口は急増し、「水」の問題は欠くことのできない問題でした。

時の三代将軍家光の信任の厚かった松平信綱は老中の一人として「知恵伊豆」として知られていましたが、彼は幕府開設以来の懸案であった江戸の上水道問題を解決するため、承応元年（1652）付近の事情に詳しい羽村の名主である庄右衛門と清右衛門の兄弟に玉川上水の水盛りを命じ、みずからも工事の総奉行となって、翌承応2年に工事を開始し、承応3年に完成しました。この完成により、用水沿いの未開の原野が開発され、新たに村落が成立しました。大岱村はその一つでした。

信綱は玉川上水を完成させると、水の乏しい自分の領地に水を引き込み新田の開発に乗り出すべく、武蔵野開発を理由に玉川上水の分水許可を得ました。この用水の開削を担当したのは、玉川兄弟と共に玉川上水工事に参加した家臣の安松金右衛門でした。安松は土地の高低をみきわめて、小川村（小平市中島町）から取水して野火止村（埼玉県）新河岸川に通じる22キロの用水を計画しました。この「野火止用水」開削当時の信綱と家臣安松金右衛門の苦心談は、江戸時代前期の学者新井白石の随筆である「紳書」にみることができます。それによると用水路の開削は、関係の村々から動員された人々の必死の努力で行われ、工事は思いのほかはかどりに、全行程を掘りとおし、さあ待望の水が、というところなのだが、どうしたわけか水はいっこうに流れてこない。安松の土地測量の間違ひではなかったのかという指摘もありましたが、安松は「そのようなことは絶対はない」と動じませんでした。そして2年が過ぎ3年目の秋、突然に襲った集中豪雨は、たちまち用水路に溢れ一挙に新河岸川まで流れが走りました。それが呼び水となったのか、その後の野火止用水は常に水を絶やすことのない用水路となって、武蔵野の開拓に大きな役割をはたしたのです。信綱の慶びと安松は言うまでもありませんが、自分の技術を信じ確実な仕事をした安松にはほんとと感心し、応分の加増をしたといわれています。死後も、松平家の菩提寺である平林寺に葬られ、永くその功績をたたえられています。

立川市と小平市の境を起点に、東村山、東久留米、清瀬などを通り新座にぬけるこの野火止用水も昭和30年代後半からの急速な宅地化等により用水としての機能は失われ、野火止用水を流れる水も昭和48年から途絶えてしまいました。このまま野火止用水を滅ぼしてはいけないと地域住民の声が高まり、東京都は昭和49年に野火止用水を環境保全地域に指定しました。さらに東京都は清流を復活させるため下水の二次処理水を野火止用水、玉川上水に流す計画をたてました。そして9年間の工事のすえ清流復活第1号として野火止用水に清流が甦りました。長い間武蔵野をうるおし、当時の村人の水に対する悲願の結晶ともいえる野火止用水、またの名を松平伊豆の守にちなんで「伊豆殿堀」（いずどのぼり）ともいわれるこの用水をいつまでも残していくことは私達世代の大きな責任ではないでしょうか。

久米川駅から新青梅街道を横切り久米川ボウル横の道を入ると鯉の泳ぐ野火止用水に出会います。東京都は雑木林を中心とした武蔵野の風景をつづる道を都民の憩いの場として積極的に活用することを目的に「雑木林の道」事業を進めています。ここからのコースは「黒目川。柳窪」コースとなっています。そしてここから北へ約15分歩くと正面に万年橋があり、その右岸たもとに大きなケヤキがあります。緑豊かな樹冠、幹回り6.3メートル樹齢は600年といわれ、太い根っこが幅2メートルの清流をまたぎ、左岸へ5メートルものびています。用水を掘るとき、ケヤキが大木だったため、伐採せずに根の下を掘り進み、農民らはたくましく張った根っこを「万年橋」として渡ったそうです。終戦直後燃料がなくてこの木を切っちゃえという話も随分出たそうですが、残してくれて本当によかったと思います。皆さん機会を作って是非一度歩いて見てください。



今月の予定

- 5日(日) 園芸の会
- 11日(土) 山とハイキングの会
- 19日(日) テニス同好会
- 23日(祝) 東村山稲門会総会・懇親会

編集局だより

編集局：井垣、伊藤、塩見、田口



○今月も何とか割付を終わり、月初には皆様の元にお届け出来そうです。編集人の都合で1週早い締め切りとなりましたが、ご協力を感謝致します。次回の締め切りは総会後の26日(日)とさせていただきます。

○いよいよ第5回の総会です。総会でのあんな事、こんな事、気付いたことを是非ニュースにお寄せ下さい。

○小亀さんのE-mailも軌道に乗り、添付ファイルで精力的な情報が続々届きます。

○このニュースは、41号迄を塩見さんが担当され、正に一騎当千のご尽力により今日のこのニュースの形を作られました。発行日前の水曜日が原稿の締切日でしたが、塩見さんは時に夜を徹してワープロ原稿の切り貼りをなさったそうです。

翻って、現在お届けしているニュースは「一太郎」というワープロソフトで全て制作しています。A3版見開き4ページの枠組みを作り、レイアウト枠を使って8ページ分のページ立てが出来上がっています。実は編集と言いましても、会長・事務局長・各同好会担当者からMailやFAXを使って送られてくる原稿をそれぞれのレイアウト枠に流し込むだけの仕事です。Mailで送られてくる原稿では、それこそCopy & Pasteという手法で1, 2の3で貼り込みます。後は適当にイラストや先月号の様に連するホームページを検索して、写真やデータを貼り付けます。塩見さんには申し訳ないようなお手軽編集です。ただし困るのは思ったほど記事が集まらない時で、パソコンの前でやたら唸っています。ですからどうか原稿をお寄せ下さい。(伊藤)

原稿募集中

詩・俳句・紀行文・随筆・小説その他何でも結構です。(但し宗教、政治団体の宣伝は駄目) 個人掲示板の設置も考えておりますので「売りたい」「買いたい」「教えて下さい」等の情報もお寄せ下さい。

投稿宛先

E-mail : tom-i@ma3.justnet.ne.jp まで添付ファイルはMS-WORD、一太郎のみ。

FAX: : 042-398-1352

郵送：東村山市富士見町1-12-2 ヴィラージュ・ヴェール1-209 伊藤宛